

HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY
FEBRUARY 1-15, 2006

ファンケルが医家向けサプリメントとして『FANCL CLINICAiD』(ファンケル クリニケード)シリーズを新発売する。これまで日本の医者チャンネルで販売されていた健康食品は主にガンなど深刻なお悩み商品が多かったが、ファンケルは医師・医療従事者が安心して推奨できる、エビデンスのしっかりとした「安心・安全」なサプリメント『FANCL CLINICAiD』を開発し、京都府立医科大学発のベンチャー企業である株式会社バイオマーカーサイエンスが医療機関への導入を進めている「アンチエイジングドック」にて販売する。米国では医家向けサプリメント(プロフェッショナル・ユースサプリメント)市場は、サプリメント市場全体の約7%(\$1,420M)を占め、通信販売とほぼ同等の規模である(Nutrition Business Journal)。医家向けサプリメントの成功のカギは、医師へのセミナーである。有効成分のメカニズム、安全性、効果に加え、臨床現場でどのように使用できるかを医師に対して教育することで、医師が実際に臨床現場で使用し、患者へ推奨することを浸透させている。ファンケルも同様に、医療従事者向けに「サプリメントセミナー」を開催するなどの啓発活動を行ってきた。米国のトレンドを先取りした試みで、今後の展開が期待される。

NEW PRODUCTS

サントリー、血圧が高めの方向けの特定保健用食品のお茶飲料「ゴマペブ茶」を発売

サントリー株式会社は、ゴマから作られるロイシン - バリン - チロシンという3つのアミノ酸から成る「ゴマペプチド」に血圧を下げる働きがあることを確認し、この「ゴマペプチド」を手軽に摂取できる飲料として、血圧分野の特定保健用食品で初めての缶入りお茶飲料である「ゴマペブ茶」を2月1日より通信販売限定で新発売する。(2006/2/1 サントリー プレスリリース)



ハーバー研究所、花粉症・アレルギー対策サプリメント「ビリーフ 花粉レスキュー」を発売

株式会社ハーバー研究所は、花粉症・アレルギー対策サプリメント「ビリーフ 花粉レスキュー」を通信販売、全国のハーバーショップおよびインターネットで2月15日より新発売する。同商品には、アレルギー症状を予防・軽減させる植物性の天然エキスバラ花びら抽出物、シソの実エキス、フキエキスや、粘膜を強化し、花粉などのアレルゲンに対する防衛機能を高めるビタミンACE、パントテン酸Ca、ビオチン、葉酸、亜鉛、マンガン、アレルギーを起こしにくい体質へと導く酵母細胞壁、EPA、DHAをバランス良く配合。飲みつづけることにより、症状の軽減を図りながら、徐々に体質を改善し、花粉症・アレルギーを起こしにくい体質へと導くサプリメントだ。(2006/2/2 ハーバー研究所 プレスリリース)



伊藤園、コーヒーポリフェノールを通常の2倍含有したダイエットコーヒー「W」シリーズを発売



株式会社伊藤園は、コーヒー強化政策として、「機能性」を機軸にした新たなコーヒーブランド「W」(ダブルユー)シリーズを投入する。2003年8月から展開している、嗜好性を追求したこだわりの缶コーヒー「Salon de Cafe」(サロンドカフェ)シリーズとの2本柱でコーヒーカテゴリーを強化していく。2月6日から発売する新商品は、中高年男性の缶コーヒーヘビーユーザーをターゲットにしたダイエットコーヒー「W」シリーズ製品の「W BLACK Coffee」と「W COFFEE with Milk」。機能性成分の「コーヒーポリフェノール(クロロゲン酸)」を通常の約2倍である1缶あたり50mg含有しながら、コーヒーのヘビーユーザーも満足するおいしさを兼ね備えた、「W」の価値をもつコーヒーに仕上げている。(2006/2/6 伊藤園 プレスリリース)

大正製薬、美容のための機能性健康茶「広東美人」と「リビタQ10緑茶」を発売

大正製薬株式会社は、広東人参を配合した紅茶飲料「広東美人」を2月16日より、コエンザイムQ10を配合した緑茶「リビタQ10緑茶」を3月9日より新発売する。同社の健康サポートブランドである「Livita」(リビタ:Life Vitality Support)は、これまでの生活習慣病予防を中心に商品展開してきたが、新たに美容に対応した製品をラインナップしていく。「広東美人」は、ビタミンCとβ-カロテンに加え、カントニンジンエキスを配合した紅茶飲料。「リビタQ10緑茶」は、ビタミンB6に加え、コエンザイムQ10を配合した緑茶飲料。(2006/2/9 大正製薬 プレスリリース)



SCIENCE UPDATES

雪印乳業、MBPの骨代謝に関する研究3演題を発表

雪印乳業株式会社は、MBPに関する3つの研究成果について、3月25日より開催された「日本農芸化学会 2006年度大会」で発表した。(1) MBPとラクトフェリンの骨代謝改善作用を比較したところ、骨芽細胞の増殖活性、コラーゲン産性促進活性、および破骨細胞の抑制活性に関して、MBPの方がラクトフェリンよりも活性が高かった、(2) MBPの新たな骨吸収抑制成分(分子量15kDaウシアンジオジェニン)が同定された、(3)成長期ラットを用いた試験では、MBPが大腿骨の骨基質(コラーゲン)形成を促進することが明らかになった。(2006/2/7 雪印乳業 プレスリリース)

COMPANY NEWS

FLP ジャパン、2005 年度売上、3.4%の微減

アロエベラジュースなどをネットワークビジネスで販売する FLP ジャパンの2005年12月期の売上高は、前期比3.4%減の350億円だった。同社の製品の愛用者は120万人、登録ディストリビューターは80万人に達し、その内アクティブなディストリビューターは約3万人いるという。昨春に一部製品で欠品があったことなどが、売上減少の要因となった。新発売したダイエット商材「フォーエバークリーン&リーン」は、発売直後は好調で、比較的若い年代層には受け入れられたが、同社のコアである高年齢層への浸透がうまくいかなかった。2006年度は、ダイエット商材の定着化、及び主力商品のアロエベラジュースのブランディングを強化し、売上高400億円を目指す。(2006/2/2 日本流通産業新聞)

ファンケル、医師・医療従事者のためのサプリメント「ファンケル クリニケード」シリーズを発売

株式会社ファンケルは、2月14日より医家向けサプリメントの第一弾『FANCL CLINICAID』（ファンケル クリニケード）シリーズを新発売する。ファンケルでは、医療従事者にサプリメントを理解してもらい、一般消費者がサプリメントを安心して摂取できるような環境を整えることを目的として、医療従事者向けに「サプリメントセミナー」を開催するなどの啓発活動を行ってきた。今回、ファンケルでは、医師・医療従事者が安心して推奨できる、エビデンスのしっかりとした「安心・安全」なサプリメント『FANCL CLINICAID』を開発し、京都府立医科大学発のベンチャー企業である株式会社バイオマーカーサイエンスが医療機関への導入を進めている「アンチエイジングドック」にて販売する。今後、更なる販売拡大へ向けて、一般の医療従事者向けの商品開発も行っていく。(2006/2/13 ファンケル プレスリリース)

REGULATORY NEWS

食品安全委員会、大豆イソフラボンの摂取上限値を設定

内閣府の食品安全委員会は、2004年1月より、特定保健用食品として、大豆イソフラボンを通常の食生活に上乗せして摂取する場合の安全性について評価をしてきた。日本では、大豆イソフラボンが含まれている大豆食品を長年にわたって食してきたが、これまで特別な安全性の問題が提起されたことはない。しかし、大豆イソフラボン(配糖体またはアグリコン)を濃縮、強化した食経験は確立されていないため、長期摂取の安全性が評価されてきた。1月31日、食品安全委員会は、大豆イソフラボンアグリコンの1日あたりの摂取上限値を75mg、特定保健用食品などで日常の食生活に上乗せする場合の上限値を30mgに設定すると、評価結果を発表した。(2006/1/31 内閣府食品安全委員会)

キリンウェルフーズのアガリクス製品に発ガンプロモーション作用が認められ、自主回収

厚生労働省では、アガリクスに関して明確な健康被害は報告されていないが、肝機能障害などの疑いが学術雑誌等に掲載されていることなどを理由に、アガリクス製品の毒性試験を実施してきた。試験を実施した3社(キリンウェルフーズ、サンドリー、サンヘルス)の製品のうち、キリンウェルフーズの製品にラットへ

の発ガンプロモーション作用が認められたため、2月13日、厚生労働省は、麒麟ウェルフーズに対して当該製品の自主的な販売停止及び回収を要請した。これを受けて、麒麟ウェルフーズは、同社のアガリクス含有商品3品の販売停止、回収を発表した。(2006/2/13 厚生労働省)